



商工中金景況調査（2025年2月調査・定例分）の公表について

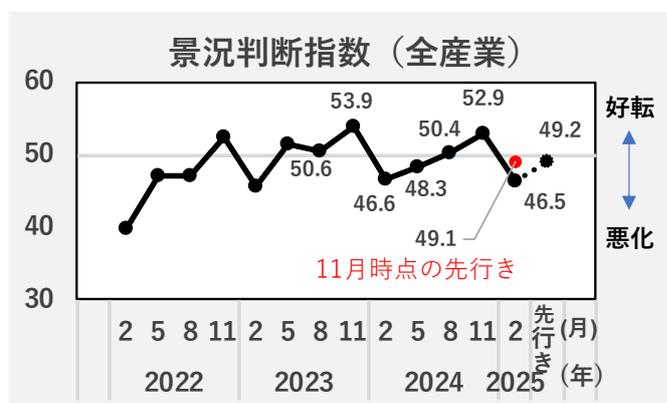
商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感などの実態把握のため景況調査を実施しており、今般2025年2月調査のうち毎回共通の質問項目（定例分）の結果について公表しました。

<2025年2月の景況感>

2月の景況判断指数は「悪化」超に転じた

2月の景況判断指数は46.5と「悪化」超に転じました。業種別でも、「飲食・宿泊」「情報通信」を除く全業種で「悪化」超となりました。

先行きも、価格転嫁の息切れ感や米国通商政策への不安感などから49.2と「悪化」超が継続する見込みです。

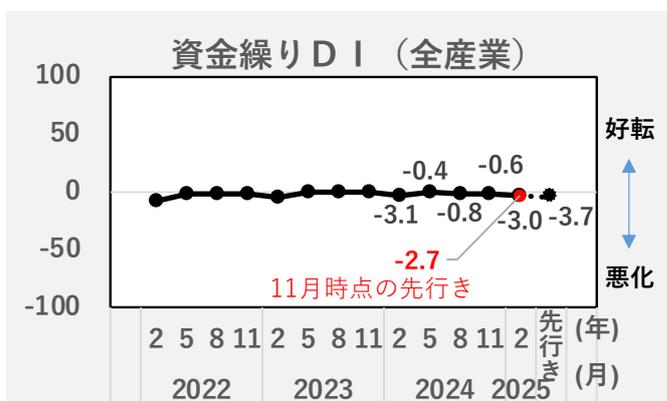


<2025年2月の業況判断>

【資金繰り】先行きでは建設業を除く全業種で「悪化」超

11月の資金繰りDIは-3.0と5期連続の「悪化」超となりました。

先行きも建設業を除く全業種で「悪化」超となっており、価格転嫁の息切れ感や継続的な賃上げ、下請法改正、金利上昇などの影響に関する声が寄せられました。



・本編資料は[こちら](#)をご覧ください。